

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2021年5月1日 212号
世界平和地球村の建設と自然環境の保護



いずれも美味しい魚です。3月7日



スルビを釣り上げた
水落氏。3月7日



水落氏が妻の誕生日(4月12日)を祝福しようと祈りながら釣ったスルビ。4月11日



モレニータを飼う生簀小屋。スルビ・ドラド釣りで使用。3月27日

スルビラッシュのペルト・レダ！

レダ基地の沿岸にスルビが帰ってきました。体長80cmを超えるスルビが次々と釣れています。今ぞ好機到来と、レダ基地スタッフも果敢に大物スルビを目指しています。日陽園を流れる養分豊かな川（レダ・リアチヨ）は、レダ基地の沿岸でパラグアイ川本流と合流します。この合流点付近は好漁場として知られ、ブラジルの観光釣り船や漁船がやって来ます。レダ基地の川岸でも、休憩時間や日曜日などに寸暇を惜しんで竿を振り、スルビ、ドラド、パクー、ボガなどを熱心に釣る姿が見られます。

ところが、スルビがめったに釣れない状態が一昨年まで10年近く続いていました。原因は定かではありませんが、巨大な網を用いての乱獲がその一つとして指摘されたことがあります。スルビは美味であることに加え、小骨がなくて食べやすいので人気があり、他の魚よりも高価格で取引されるのです。他方、アマチュアの釣り人たちは、スルビ釣りが慢性的な貧困になつて以来、主としてドラドやパクーを釣りの対象とするようになりました。

スルビと呼ばれる魚には、虎のような縞模様があるものと、黒い斑点のあるものとがあります。後者をピンタードと呼んで区別する場合もありますが、一般にはどちらもスルビと呼ばれます。食感も同じで、食卓で最も喜ばれるのが、このスルビと、ジャウー（マングルジュー）です。黄金色の猛魚ドラドは釣つて嬉しい魚ですが、食卓における人気ではスルビが圧倒的に優ります。焼いて揚げてよし、煮てよしのグルメ魚なのです。

スルビを釣るには、モレニータ（ツビニ）、モハリータなどの小魚を生餌にします。投げ込んだら置き竿でもかまいません。スルビが餌を飲み込むと、竿がズルズルと引かれます。1~2mほど引かせたところで大きくフックングします。一旦ハリに掛かるとまず外れません。縦横に激しく走りますが、3回ほど猛烈に抵抗すると、少し大人しくなります。大物の引きは強力なので、踏ん張ってください。リールの調整をしないと、超大物にはラインを切られる恐れもあります。口に歯がないので、アゴを掴んでのランディングもできますが、尖ったヒレ先には要注意。縦横無尽に暴れるスルビをランディングするまでのスリルは、猛魚釣りの入門にぴったりです。レダでスルビ釣りにチャレンジしてみませんか？

レダ
基地スナップ



池から取り出したパクーの稚魚をコンテナに入れる。3月15日



販売するパクーの稚魚を池から取り出す。3月15日



ランパル牧場の池にパクーの稚魚を入れる。3月15日



近隣のランパル牧場に準備されていた養殖池。3月15日



養殖池の草刈り作業。3月23日



販売する牛の搬出。3月12日



販売する牛をコラールに入れる。3月10日



アルガロボの実生苗を採取してポットに仮植する。4月6日



川久保君(中央)がエスペランサの村を訪問。3月28日

レダ基地からのビデオメッセージ



今年はコロナ禍で、新年会や定例集会などが延び延びになつてきましたが、ようやく去る4月3日、東京の会場で感染症対策を徹底した上で「レダ開拓22周年新春特別集会」を開催することができました。この集会には、レダ基地滞在者たちからビデオメッセージが寄せられました。会員・支援者の皆さんにレダの現場をより近く感じていただくために送られてきたものです。以下に要旨をお伝えいたします。

● 上山氏.. お早うございます。私は上山貞和といい、鹿児島県出身です。76歳になりました。21年間レダの開拓をしています。「ダンベリー」(文先生が受けた獄苦)の代わりと思え」と言わされて99年に出発しました。苦労の時は、ダンベリーの牢獄と言いながら歩んでいます。健康の続く限りレダの開拓を続けたいと思います。

文先生からは「40日修練を40年間やるよう」とのことであり、全力を尽くして頑張ります。毎朝、訓読会をして一日を出発しますが、この訓読会を天の役事と思い努力しています。今は現地の労働者と共にタロイモ栽培をしています。また今年からは牧畜も担当していますが、こうして何とか自活できるようにと考えています。毎日馬に乗る訓練をし、トラクターの運転・操作もできるようになります。牧場の方はまだまだ開拓初期で、飲料水の問題、電力の問題、通信の問題などがあります。それを一つ一つ克服して自立・自活できるようにしていきます。そして多くの方々がレダに来てくださり、生きた創造の神を体験してくださりますように願っています。

● 大和田氏.. 日本の皆さん、こんにちは。大和田法生といいます。このレダに来て、22年目になります。ここでは第一に上水道の業務を担当しています。きれいな水道水をつくつて届けるのが私の仕事です。



上山氏

二つ目は、食料を買い付けること、そして従業員食堂に毎日必要量の食料を提供すること。三つ目は、清掃業務の管理です。一人の婦人が清掃員として働いています。が、その段取り・工程を管理して全施設をきれいに保つこと。

大和田氏

新年の抱負ですが、岩澤所長を新しく迎えて、従来のよう沿つて頑張っていきます。ただ仕事をバリバリしていくだけではなく、自立と発展が強く願われているので、その方向に沿つて頑張っていきます。日本の皆さんには、ぜひともこのレダプロジェクトに関心を持っていたい、助けていたいだければ、ありがたいと思います。

● 伊達氏.. 皆様こんにちは。私の名前は伊達勝見といいます。勝見というのは「勝利を見る」ということです。レダの地で勝利を見るまで頑張りたいと思っています。1949年9月10日生まれですから、70歳を超えた。レダには開拓初期から何度も来ていますが、こうして何とか自活できるようになりました。私が担当する業務

す。昨年の2020年は、ただがむしやらな立場で歩みつつも、これまでの20年余りの歩みを通して、段々だんだん希望が見えてきました。何がご意見やご感想

あります。今年は更にその希望をより実体化すべく、岩澤所長と一緒になつて頑張っていきます。今年の抱負は、天然の実生苗を採取したり、種を播いて育てることで、どんどん植えていきたいと思っています。ニームの木を中心とした約1000株は中心としたニュースレター「日陽園便り」も、すでに500回近くになりました。何かご意見やご感想がありましたら、お送りいただければそれに従つてなければ、ありがたいと思いません。私の担当は、植樹関係の他に、総務的な仕事もあります。毎週作成してお送りしております、写真を中心としたニュースレター「日陽園便り」も、すでに500回近くになりました。何かご意見やご感想がありましたら、お送りいただければそれに従つてなければ、ありがたいと思つてあります。

● 伊達氏.. 皆様こんにちは。私の名前は伊達勝見といいます。勝見というのは「勝利を見る」ということです。レダの地で勝利を見るまで頑張りたいと思っています。1949年9月10日生まれですから、70歳を超えた。レダには開拓初期から何度も来ていますが、こうして何とか自活できるようになりました。私が担当する業務

す。昨年の2020年は、ただがむしやらな立場で歩みつつも、これまでの20年余りの歩みを通して、段々だんだん希望が見えてきました。何がご意見やご感想

あります。今年は更にその希望をより実体化すべく、岩澤所長と一緒になつて頑張っていきます。今年の抱負は、天然の実生苗を採取したり、種を播いて育てることで、どんどん植えていきたいと思つています。ニームの木を中心とした約1000株は中心としたニュースレター「日陽園便り」も、すでに500回近くになりました。何かご意見やご感想



伊達氏

● 水落氏.. 皆様こんにちは。私の名前は水落勝といいます。2014年からレダで仕事をしています。職業は大工です。簡単な軽量鉄骨

た新しい苗木を植やして植える仕事もあり、特に昨年はそれを中心に行い、約300本の苗木を植やしました。極力この土地に合った木を植える、ということで、ジャトロファ、アルガロボ、アセロラの木などを植えました。そういう土地本来の木は強健です。他所から持つてきただ木は、きれいな木もあるのですが枯れやすいので、やはり現地でよく育つ木を中心にして植えようとしております。また、マンゴーや、グアバなど、美味しい果実の生る木も植えています。これからレダに来られる方が楽しんでもらえるようにしていなければなと思つております。

私の担当は、植樹関係の他に、総務的な仕事もあります。毎週作成してお送りしております、写真を中心としたニュースレター「日陽園便り」も、すでに500回近くになりました。何かご意見やご感想がありましたら、お送りいただければそれに従つてなければ、ありがたいと思つてあります。

● 水落氏.. 皆様こんにちは。私の名前は水落勝といいます。勝見というのは「勝利を見る」ということです。レダの地で勝利を見るまで頑張りたいと思っています。1949年9月10日生まれですから、70歳を超えた。レダには開拓初期から何度も来ていますが、こうして何とか自活できるようになりました。私が担当する業務

す。昨年の2020年は、ただがむしやらな立場で歩みつつも、これまでの20年余りの歩みを通して、段々だんだん希望が見えてきました。何がご意見やご感想

あります。今年は更にその希望をより実体化すべく、岩澤所長と一緒になつて頑張っていきます。今年の抱負は、天然の実生苗を採取したり、種を播いて育てることで、どんどん植えていきたいと思つています。ニームの木を中心とした約1000株は中心としたニュースレター「日陽園便り」も、すでに500回近くになりました。何かご意見やご感想



水落氏

● 水落氏.. 皆様こんにちは。私の名前は水落勝といいます。2014年からレダで仕事をしています。職業は大工です。簡単な軽量鉄骨

